

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル
 コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	1,365	—	48	—	21	—	9	—
26年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	3.31	—
26年6月期第1四半期	—	—

(注)当社は平成26年6月期第1四半期は連結業績を開示しておりますが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成26年6月期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	2,838	209	7.4
26年6月期	2,446	49	2.0

(参考)自己資本 27年6月期第1四半期 209百万円 26年6月期 49百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	5,219	△3.6	292	△84.4	255	—	235	—	78.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	3,019,500 株	26年6月期	2,737,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	93,672 株	26年6月期	93,672 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	2,833,708 株	26年6月期1Q	837,380 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成27年6月期第1四半期(平成26年7月1日～平成26年9月30日)の業績は、前期平成26年6月期第1四半期連結業績に比べて、売上は1,365百万円と163百万円の増収、経常利益は21百万円と114百万円の増益、四半期純利益は9百万円と126百万円の増益と業績が大幅に改善されました。業績が改善された主な要因は高コスト体質からの脱却を目指して、平成25年10月以降、経費の見直し、業務委託の見直し、適正な人員配置などコスト削減に取り組んだ結果、前期第1四半期に比べて大幅な販売管理費の削減を達成しております。また平成26年2月に日本リレント化粧品株式会社と合併し、製造機能を強化し、調達から販売まで一貫した商品供給が可能となったことも売上、利益の拡大に寄与いたしました。

売上については、インテリア雑貨において、キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が好調に推移し、中でも「ホットプレート」は当初の想定以上の売上を上げております。またトラベル商品ブランド「ミレスト」は平成26年7月にオープンした「トラベルショップGATE成田店」を始めトラベルショップ5店舗すべて好調に推移し、売り上げを伸ばしております。またリレント化粧品関連販売の売上も増加したことにより、売上高は1,365百万円となりました。

利益については、前述の売上高の増加と収益改善策の一環として前期より引き続き実施しているコスト削減策の効果が寄与したことにより、営業利益は48百万円、経常利益は21百万円、四半期純利益は9百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述の通り、ホットプレート等のキッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」やトラベル商品ブランド「ミレスト」など自社商品ブランドが好調に推移し、またリレント化粧品関連販売の売上が加わったことで、売上高835百万円、営業利益は176百万円となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、トラベルショップGATE成田等新規店舗分の売上増加により530百万円となりましたが、仕入商品の売上比率が上昇し粗利益率が下落したことにより、営業利益は8百万円となりました。

その他においては、売上高は0百万円となりました。

現状において、高コスト体質からの脱却や経営体制の変更等、経営体質の改善は完了しており、前期平成26年6月期第一四半期連結業績に比べて今期平成27年6月期第1四半期においては、大きく黒字に転じております。今後は一層の商品力の強化とEコマース等販売力の強化等を図り、また健康コーポレーショングループとのシナジーを最大限に活用することで、大幅な利益面の改善を図るべく諸施策を実施し、通期で大幅な利益達成し、V字回復を果たす所存であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は、2,838百万円(前事業年度末は2,446百万円)となり、391百万円増加しました。

流動資産は、2,436百万円(前事業年度末は2,020百万円)となり、415百万円増加しました。これは現金及び預金の減少(79百万円)等があったものの、受取手形及び売掛金(純額)の増加(161百万円)並びに商品及び製品の増加(321百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、401百万円(前事業年度末は425百万円)となり、23百万円減少しました。これは無形固定資産の増加(0百万円)及び投資その他の資産の増加(1百万円)があったものの、有形固定資産の減少(25百万円)があったことによるものであります。

流動負債は、2,462百万円(前事業年度末は2,173百万円)となり、289百万円増加しました。これはその他の減少(24百万円)があったものの、支払手形及び買掛金の増加(283百万円)等があったことによるものであります。

固定負債は、166百万円(前事業年度末は223百万円)となり、57百万円減少しました。これは長期借入金の流動負債への振替による減少(62百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、209百万円(前事業年度末は49百万円)となり、159百万円増加しました。これは第三者割当増資による資本金の増加(75百万円)及び資本剰余金の増加(75百万円)等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年9月29日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	307	228
受取手形及び売掛金(純額)	424	585
商品及び製品	902	1,223
仕掛品	16	14
原材料及び貯蔵品	58	65
その他	311	317
流動資産合計	2,020	2,436
固定資産		
有形固定資産	235	210
無形固定資産	11	11
投資その他の資産	178	180
固定資産合計	425	401
資産合計	2,446	2,838
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	427	711
短期借入金	1,321	1,346
関係会社短期借入金	150	150
未払法人税等	—	2
引当金	20	23
その他	254	229
流動負債合計	2,173	2,462
固定負債		
長期借入金	149	87
リース債務	24	23
受入保証金	38	31
引当金	—	1
その他	11	23
固定負債合計	223	166
負債合計	2,396	2,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	175
資本剰余金	1,111	1,186
利益剰余金	△1,079	△1,070
自己株式	△82	△82
株主資本合計	49	209
純資産合計	49	209
負債純資産合計	2,446	2,838

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,365
売上原価	750
売上総利益	614
返品調整引当金戻入額	6
返品調整引当金繰入額	7
差引売上総利益	614
販売費及び一般管理費	565
営業利益	48
営業外収益	
その他	0
営業外収益合計	0
営業外費用	
支払利息	10
為替差損	16
その他	0
営業外費用合計	28
経常利益	21
特別損失	
その他	1
特別損失合計	1
税引前四半期純利益	19
法人税等	10
四半期純利益	9

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年7月31日付で、健康コーポレーション株式会社及び株式会社ジャパングルズS Cから第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が75百万円、資本準備金が75百万円増加し、当第1四半期累計期間において資本金が175百万円、資本剰余金が1,186百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	住関連ライ フスタイル 商品製造卸 売事業 (百万円)	住関連ライ フスタイル 商品小売事 業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への売上高	835	530	1,365	0	1,365	—	1,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	835	530	1,365	0	1,365	—	1,365
セグメント利益	176	8	185	—	185	△136	48

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△136百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 平成26年2月に日本リレント化粧品株式会社と合併したことにより事業継承した「リレント化粧品事業」は、報告セグメントの事業区分上、「住関連ライフスタイル商品製造卸売事業」に含まれております。